

2013. 3【vol.33】

# 水レター「びわ湖・よど川」

独立行政法人水資源機構 関西支社  
発行

水資源機構全体の取り組みや関西支社管内における情報のほか、琵琶湖・淀川水系の水源地域情報を、水レター「びわ湖・よど川」により、関係機関の皆様にお知らせします。

index

- |   |    |
|---|----|
| 1. 関西支社管内の気象と水源状況                         | 1p |
| 2. 関西支社が主催する環境学習会を開催                      | 2p |
| 3. 名張青蓮寺湖駅伝競走大会が開催される！                    | 3p |
| 4. 機構からの出向者紹介                             | 4p |
| 5. 『仕事への取り組み方等のキャッチフレーズ(関西いろはカルタ)』のご紹介    | 5p |
| 6. 水源地フォーラム<br>～水源地・防災国土の安全と再生をめざして～ 参加報告 | 5p |
| 7. 水源地マラソン紀行（その9）                         | 6p |
| 8. ダムなど水源地の“桜の見所”を紹介                      | 7p |
| 編集後記                                      |    |



水がささえる豊かな社会



独立行政法人 水資源機構

# 1. 関西支社管内の気象と水源状況

2月の気象状況は、気象庁の発表によると、北日本から西日本にかけての太平洋側では、晴れの日が多かったようですが、低気圧の影響により、数日の周期で雨や雪となったそうです。

関西支社管内の水源においても、2月は、周期的にまとまった降雨が観測されました。月間の降水量は、日吉ダムを除く他のダムでは平年値を大きく上回り、各水源（各ダム）の流況は安定した状況でした。

関西支社管内における各水源（各ダム）の貯水率は、高山ダムが2月の下旬から若干下降しましたが、ほぼ満水で推移しております。

## ～ 水資源機構(関西支社管内)の水源状況 ～

平成25年3月11日 9:00現在

施設名	貯水位(標高. m)	貯水量(万m <sup>3</sup> )	貯水率(%) <sup>※2</sup>	降水量(mm) <sup>※3</sup>	
				(観測値)	(平年値)
高山ダム	132.62	4,328	88.0	104	69
青蓮寺ダム	276.54	1,869	97.9	95	65
室生ダム	294.84	1,266	95.2	100	65
布目ダム	283.52	1,230	96.8	78	63
比奈知ダム	300.51	1,495	97.7	90	61
一庫ダム	148.64	2,635	98.3	66	63
日吉ダム	191.12	3,548	98.6	46	62
琵琶湖	B.S.L. -12cm	—	—	121.4	113.4
7ダム 合計	—	16,371	93.0%	—	—

※1 琵琶湖水位は、3月11日 6:00の水位を表示しています。

※2 貯水率は、10月16日より非洪水期の利水容量で計算しています。

※3 降水量については、2月1日～28日までの累計値で、

琵琶湖は流域平均雨量、各ダムはダム地点降水量を表示しています。

水資源機構の関西支社管内における各ダムの貯水状況は、関西支社ホームページの水源情報に掲載しております。

<http://www.water.go.jp/kansai/kansai/html/suigen/suigen.html>

(関西支社 施設管理課)

## 2. 関西支社が主催する環境学習会を開催

2月21日（木）に琵琶湖開発総合管理所の会議室において、関西支社が主催する環境学習会を開催しました。

環境学習会は、機構職員の環境に対する意識と知識の向上、工事や調査の関係者への環境保全に対する意識の啓発を目的として、各事業所において開催しています。関西支社が主催する環境学習会の場合は、淀川水系内での環境に関する課題や話題の共有化を図り、普段の業務に役立ててもらうことに主眼を置き、関西支社管内の機構職員を対象として実施します。

機構のダム貯水池においても定期的な採水分析調査や自動観測装置による水質監視を行っています。また、カビ臭物質やアオコといった植物プランクトンの異常な増殖による水質障害についても監視を行っています。しかしながら、ダムより放流された水はどのような行程を経て、水道水として蛇口に辿り着くのかは、機構職員でも理解しているのは少数です。

今回は、淀川水系での機構施設の最大利水者である大阪広域水道企業団の水質管理センター所長安達伸光氏を講師に招き、「水道事業と水源水質」と題して講演して頂きました。

講演の内容は多岐に渡り、水道事業の仕組みから浄水施設個々の写真を用いた浄水技術に関するものまで幅広く講演して頂き、浄水技術に関しては、講師が下水道事業にも従事されていた経験から下水道の汚水処理技術との比較などを含めた内容の濃い講演となりました。

最後に、「ポスト高度処理の浄水技術は原水水質の良好を如何に確保するかが重要である。」ということであり、原水を管理している機構にも期待する面が大きいとのことでした。

関西支社としては、今後もこのような学習会を開催し、新たな知識を得ることで、「安全で良質な水を安定して安くお届けする」の経営理念が利水者に実感していただけるような施設管理を目指していきたいと考えております。

（関西支社 設計環境課）



安達所長による講演



講演後の質疑応答

### 3. 名張青蓮寺湖駅伝競走大会が開催される！

平成25年2月24日（日）、水資源機構の青蓮寺ダムにおいて、三重県名張市が主催する「第27回名張青蓮寺湖駅伝競争大会」が開催されました。

当日は、朝から好天に恵まれましたが、一日中強い寒風が吹き、走っていても吹き飛ばされるようなコンディションでした。

今年の参加チームは、男子の部（20.24km：6区間）46チーム、女子の部（13.06km：5区間）7チーム、男女混成の部（13.06km：5区間）28チームと、地元である名張市を中心に多くの方々が参加しました。

水資源機構からは、関西支社のほか川上ダム建設所、一庫ダム管理所、木津川ダム総合管理所から併せて6チームが男子の部として出場し、また、大会のスタッフとしても大勢が協力しました。

大会は、地元名張市で生まれた、小説家の「江戸川乱歩」に扮したスターターの号砲でスタートしました。

青蓮寺湖を周回する道路は高低差が大きく、当日は強風でもあったことから、選手の皆さんは走るのに苦労されたと思いますが、男子の部で1位となったチームは、6区間の合計が1時間4分45秒と好タイムを記録しました。

水資源機構チームの結果は、46チーム中28位の一庫ダム管理所チームが最高順位でしたが、皆さん力を出し切り、爽やかな一日を過ごされたと思います。

水レターではお馴染みとなりました「ダムを走る男」が、この大会でも木津川ダム総合管理所管理職チームに助っ人で参加し、6区であるアンカーとして疾走（失速？）しました。

「ダムを走る男」の記録は、区間36位という結果となりましたが、閉会式前に実施されたお楽しみ抽選会では、ご当地レトルトカレーの「伊賀牛忍者ビーフカレー」を頂き、ご満足に締めくくられました。

私も20年ほど前となりますが、この大会に何度か参加したこともあり、来年は久しぶりに参加してみようかと思いましたが…。

最後となりましたが、この大会を影で支えてくださったスタッフの皆様、大変お疲れ様でした。

（関西支社 利水者サービス課）





## 4. 機構からの出向者紹介

今回は、国土交通省近畿地方整備局河川計画課で働く、『関根 隆好』さんを紹介します。

関根さんは、平成12年に水資源開発公団に入社し、「丹生ダム建設所」、九州の「筑後大堰管理所」、「小石原川ダム調査所（現：朝倉総合事業所）」、「本社ダム事業部」を経験し、平成23年10月に現在の職場へ出向されました。

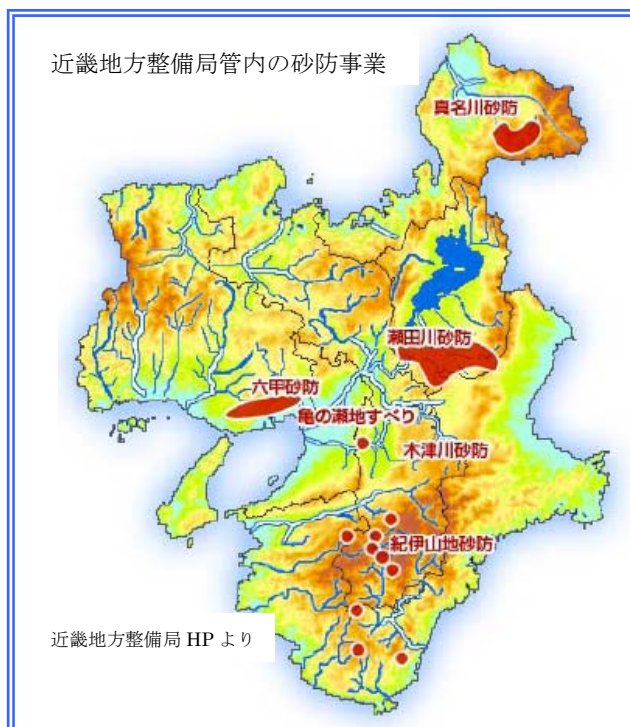
関根さんは、近畿地方の6つの直轄砂防事業（紀伊山地砂防、六甲砂防、瀬田川砂防、木津川砂防、真名川砂防、亀の瀬地すべり）の予算と事業監理を主に担当されています。

赴任された平成23年は、9月の台風12号により、紀伊半島の各地で、河道閉塞等の大規模な土砂災害が発生しており、連日連夜、その災害対

応に当たられました。また、昨年8月の宇治市の豪雨災害時には、緊急災害対策派遣隊



仕事の内容を説明する関根さん



（TEC-FORCE※）の一員として現地で災害対応に当たられ、近畿の安心・安全のために、日々ご活躍されています。

そんな、忙しい毎日を過ごされている関根さんですが、家に帰れば、奥さんと可愛い1児のパパ。休日には、子供の好きなスーパー銭湯に行き、一緒にお風呂に入ったり、子供に雪遊びをさせようと、昔の勤務地である丹生ダム建設所の近くのスキー場まで遊びに行ったりと、家族との時間をとても大切にしています。

今後も、近畿の安心・安全のため、頑張ってください。

（関西支社 利水者サービス課）

TEC-FORCE※（緊急災害対策派遣隊）とは、

地震・水害・土砂災害等の大規模自然災害に対応するため、被災地方公共団体（自治体）等が行う被災状況の迅速な把握、被害の発生及び拡大の防止、被災地の早期復旧その他災害応急対策に対する技術的な支援を円滑かつ迅速に実施するために国土交通省に設置されたものである。 英称（Technical Emergency Control Force）

## 5. 『仕事への取り組み方等のキャッチフレーズ（関西いろはカルタ）』のご紹介

第一次南極越冬隊長などを歴任した西堀榮三郎博士らが選んだ創作ことわざ「西堀かるた」があります。それは、ユーモアと示唆に富み、その面白さと生活に“希望を与え、決心を促し、人生を楽しくする”西堀かるたは近年賛同者が増えています。水資源機構関西支社でも、「西堀かるた」に倣い、国民や利水者の皆様からの更なる信頼を得て、より強い組織づくりを図るため、職員一人ひとりの仕事への取り組み方、定時退庁の呼び掛けや心構え等も含めた日頃の業務の指標として、「関西いろはカルタ」を平成23年度に作成いたしました。

関西管内の事業所で取りまとめた『仕事への取り組み方等のキャッチフレーズ（関西いろはカルタ）』を紹介いたします。



今回は、『き』、『ゆ』、『め』です。

## 6. 水源地フォーラム

～水源地・防災国土の安全と再生をめざして～ 参加報告

平成25年2月15日滋賀県甲賀市甲南情報交流センター「忍の里プララ」において「水源地フォーラム」が開催され、水資源機構関西支社も聴衆として出席いたしました。このフォーラムは琵琶湖周辺における治水対策期成同盟会などの各種団体が主体となり、水源地域に顕在する諸問題の解決に向けて、淀川水源地から、中下流に向けて、治水、利水、さらには環境のあり方を発信し、問いかけ、共通の思いを共有し、水源地の課題、悩みの理解を通して「水源地のあり方」について考えていくものです。

今回のフォーラムでは、基調講演として、「森林の多面的な効果」、「未曾有の水害－奥会津からの報告」があり、記念講演として、高橋 裕 東京大学名誉教授より「川と国土の危機」、藤井 聡 京都大学大学院教授、内閣官房参与より「防災・減災ニューディール～交通網と地域振興への貢献～」のご講演がありました。

高橋先生のご講演では、現在、水源地においては、過疎化・高齢化が進み、外国資本による水源林や土地の買収が進んでおり、国家としての森林の総合的な保全が求められている。『流域はひとつ』という視点に立って、水源地の抱える課題を流域で共有しともに理解することが重要であるというお話しでした。

藤井先生のご講演では、淀川流域の問題に止まらず、日本国内のグローバルな視点から災害に脆弱な日本国土を強靱化していくことが、我国の経済力を回復させることだというお話しでした。藤井先生におかれては、現安倍政権における官房参与というご多忙のなかでのお話しで、現政権下において、担当大臣（古屋圭司大臣）を設けた点を評価するなど、何よりも国土強靱化計画に対して並々ならぬ決意を感じ取ることが出来ました。

（関西支社 利水者サービス課 今井）

## 7. 水源地マラソン紀行 (その9)

先週の半ばから暖かい陽気に見舞われたこともあり、大阪では梅が満開となっております。

2月は駅伝あり、マラソン大会ありの毎週違うバリエーションです。そこそこの成績を残すためには、そこそこのトレーニングをして大会に臨む必要がありますが、何せ、自己流故に、あれやこれやとできる訳がなく、ただ週末、漠然と走って大会に臨んでいます。

2月10日には「月ヶ瀬梅溪早春マラソン」が奈良県奈良市(元月ヶ瀬村)にて快晴のもとで開催されました。月ヶ瀬早春マラソンは今年で28回を迎える歴史ある大会で、毎年、梅の開花に先駆けて開催されます。

この大会の特徴は、元月ヶ瀬村役場のある行政センターより、高山ダムの貯水池を往復するコースなのですが、スタートから折り返しまでの高低差があり、約600mを7%の坂を行きは下り、帰りは登りという、淀川水源地マラソン過酷部門のベスト3にはランキングされるほどの大会です。(ちなみに1位は日吉ダムマラソン)最初に出場した2年前の大会では、スタートの下りでスピードを出しすぎてしまい、ゴール手前で遂に失速。坂で歩いてしまったほどでした。故にこの大会では後半の上り坂までスタミナを温存し、最後に歩かないことが好記録につながるのです。

今回の大会では、水機構より10名が参加しました。そのうち10kの部は、私を含めて4名の参加で、昨年、フルマラソンでサブスリー(3時間以内で完走:トップランナーレベル)を2回も達成した一庫ダムのM氏、いつも私よりちょっと早いK課長、今回10kに初出走する布目ダムT所長です。スタートして前半は、K課長の後について行きますが、2kくらいについて行けなくなります。M氏は相変わらず、パワー溢れる快調な走りです。T所長も10k初出走にしてはしっかりした走りです。

今年も、いよいよ地獄の上り坂にさしかかってきます。やはり、ここでは坂のきつさ故に歩いている人がおり、何人か抜きます。坂を登り切るとゴールの月ヶ瀬中学校です。やはりK課長には追いつくことはできませんでしたが、順位ではK課長の直後で、タイムも50分を切っており、昨年のタイムからも2分くらい縮まっており、まずまずの結果でした。

この大会では、前述のM氏が年代別で3位入賞を果たすというすばらしい結果です。さらに驚くべきは、一緒に出場した家内も年代別で3位に入るという奇跡が生まれます。家内の年代での出場者は10名であり、地道に続けていけば、そんな嬉しいことも起こるのです。ちなみに10kの女子の60歳以上の参加者は3名なので、出走すれば必ず入賞です。

そんな家内に先を超されたというちょっとした悔しさはありますが、良い思い出の大会となりました。来年は平成26年2月16日に開催されることが既に決まっています。来年もまた、この地にいることができるなら是非参加したい大会です。

(ダムを走る男)



3位入賞を果たしたM氏



名産のお茶、梅ジュース、豚汁サービスも充実



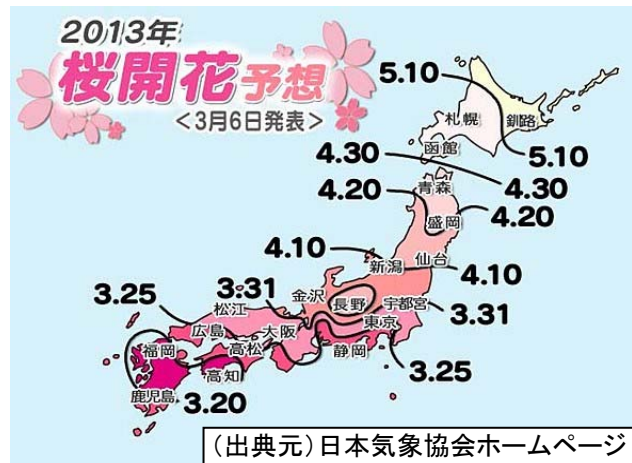
## 8. ダムなど水源地の“桜の見所”を紹介

気候も、だんだんと暖かくなり、春の訪れを感じるようになりました。

日本気象協会によると、2013年の桜（ソメイヨシノ）の開花日と満開日は、九州・四国地方は平年より2～6日早く、中国から関東地方は平年と同じか1～4日早い模様です。九州から関東にかけては、3月最後の週末にお花見の楽しめる場所が多くなるということです。

ここでは、淀川水系の水源における“桜の見どころ”を紹介いたします。

季節を感じに、水源地へお出かけになってはいかがでしょうか。



所在地	水源地域	情報(桜の見どころetc)	アクセス
滋賀県	琵琶湖疎水 (第一疎水)	【例年の見頃:4月上旬】 疏水の堤に植えられた桜の並木が美しく咲き、疏水を流れる湖水に映え、散った花びらは“花筏”となって流れます。桜の名所三井寺・琵琶湖疎水界隈の桜が、4月上旬にライトアップされます。	名神高速「京都東IC」から、自動車で約10分
	海津(かいづ)大崎	【例年の見頃:4月中旬】 海津大崎の桜並木は、「日本のさくら名所100選」にも選ばれています。琵琶湖湖岸に約4kmにわたって約800本の桜が咲き誇ります。海津大崎は、琵琶湖八景「暁霧・海津大崎の岩礁」としても知られる景勝地で、毎年多くの花見客で賑わいます。	JRマキノ駅から、バスで約10分 (※シーズン中のクルマのご利用は、渋滞が予想されます。)
三重県	永源寺ダム	【例年の見頃:3月下旬～4月上旬】 永源寺ダム周辺道路約10kmにわたり桜が植えられています。	名神高速「八日市IC」から、自動車で約20分
	青蓮寺ダム	【例年の見頃:4月上旬～中旬】 青蓮寺湖の周り約5kmの道路沿いに植えられた桜がダム湖面に美しい姿を映しだします。また、青蓮寺湖畔に広がる果樹園では、家族連れやグループで、いちご狩り(3月1日～5月31日)やぶどう狩り(7月20日～10月31日)を楽しめます。	名阪国道「上野IC」から、自動車で約35分
	比奈知ダム	【例年の見頃:4月上旬～中旬】 ダムの下流に位置する親水公園やダム湖周辺の小公園などで桜を見ることができます。また、4月下旬頃～5月連休中に、鯉のぼりをダム堤頂に設置する予定です。	名阪国道「上野IC」から、自動車で約35分



所在地	水源地域	情報(桜の見どころetc)	アクセス
	高山ダム	【例年の見頃：4月上旬】 高山ダムを起点とした川沿いに咲く誇る桜は見物です。ダム貯水池を背景とした桜は格別ではないでしょうか。	名阪国道「五月橋IC」から、自動車約20分
	日吉ダム	【例年の見頃：4月上旬】 ダム堤体付近の公園や湖周道路には、桜がたくさん植えられていて、ドライブするのも良いのではないのでしょうか。また、ダム下流にある「スプリングひよし」のレストランでは、マニアでは有名な“ダム・カレー”を食べることができます。一度、ご賞味あれ。	京都縦貫自動車道「園部IC」から、自動車約15分
京都府	天ヶ瀬ダム	【例年の見頃：4月上旬】 天ヶ瀬ダムは美しい円弧を描くドーム型アーチ式ダムで、ダムの上から見える景色は絶景です。また、ダム周辺の小山に点々と咲く桜がとても綺麗です。	京滋バイパス「宇治東IC」から、自動車約20分
	大野ダム	【例年の見頃：4月上旬】 大野ダムは南丹市美山町にあり、周辺には多目的広場や散策路があり、毎年、春にはさくら祭りが行われ、多くの人々が訪れております。今年の「大野ダムさくら祭り」は、4月6日(土)～14日(日)に開催予定です。 詳しくは、「大野ダムさくら祭り実行委員会ホームページ」( <a href="http://www.ohnodam.com/miru_sakura.html">http://www.ohnodam.com/miru_sakura.html</a> )をご覧ください。	京都縦貫自動車道「丹波IC」から、自動車約30分
奈良県	室生ダム	【例年の見頃：4月上旬～中旬】 西光寺や大野寺、室生寺の枝垂れ桜、室生ダム周辺に咲く桜など、あわせて歴史の名所を探訪してみたいはいかがでしょうか。	名阪国道「針IC」から、自動車約15分
	布目ダム	【例年の見頃：4月中旬】 ダム湖周辺にある公園や広場で桜を見ることができます。ダム湖と併せて風景を楽しんでください。	名阪国道「山添IC」から、自動車20分
兵庫県	一庫ダム	【例年の見頃：4月上旬】 ダムから下流に下っていく散策路を歩いてみては、いかがでしょうか。シーズンには、見事な桜を見ることができるかも……。	阪神高速「池田木部IC」から、自動車20分

## 編集後記

今回の編集後記を担当することになりました平尾です。

初めに、私の簡単な自己紹介をします。

私は、平成23年10月に三重県名張市にあります木津川ダム総合管理所から関西支社の事業部施設管理課へ配属となりました。

現在は、自宅のある名張市から大阪市まで近鉄電車にて通勤していますが、この3月末で1年6ヶ月となりようやく電車通勤にも慣れてきたところです。（私自身、公団（現在の機構）に入社してはじめての電車での通勤となりました。）

関西支社での仕事の内容は、機構のダムの施設管理業務やダム管理に関わる法や規程関連の手続きを担当しています。

本年度は、正蓮寺川利水施設、淀川大堰のほか青蓮寺ダムや比奈知ダムの施設管理規程の改正のために関係府県様、関係利水者様等には大変なご協力をいただき、この場をお借りしお礼申し上げます。

次に、私の所属している施設管理課から、2012年度の関西支社管内のダム管理状況ですが、9月28日から10月1日にかけて日本列島を縦断した台風17号で青蓮寺ダム、比奈知ダム及び高山ダムの連携した防災操作により名張川及び木津川の水位の低下に寄与しました。

私自身も名張川の流れる名張市に住んでおり、機構のダムの恩恵を受けていると実感したところです。

最後となりますが、私は、2、3年ほど前からこの季節になると鼻の奥あたりの調子が悪くなります。そうです、花粉症になってしまいました。

昔は、春の季節はとても気持ちが明るくなり楽しい感じがしていたのですが、花粉症になってからはとても辛い季節となりました。

私は、香川県の田舎育ちなので絶対に花粉症にはならないと思っていましたが、花粉症となってしまいました。

医師に確認したところ「育った自然環境は関係なく、体質です。」と言われました。このため、この季節は頻繁に通院するようになりました。

3月に入り徐々に暖かくなりはじめ、春の訪れが近づいてきましたが、2012年度も残すところあとわずかとなりました。

年度末を迎え、業務多忙となりますが、皆様方におかれましては、お体には十分お気をつけ下さい。

（関西支社 施設管理課 平尾）

Japan Water Agency



独立行政法人  
水資源機構

水資源機構ツイッター

[http://twitter.com/jwa\\_PR](http://twitter.com/jwa_PR)

水資源機構関西支社

<http://www.water.go.jp/kansai/kansai>

水レター「びわ湖・よど川」に対して、ご要望・ご意見等がございましたら、下記アドレスまでご連絡ください。（耳寄りな情報もお待ちしております。）

mailto: [w-kansai@msg.biglobe.ne.jp](mailto:w-kansai@msg.biglobe.ne.jp)